



月刊 はあとふるあたご

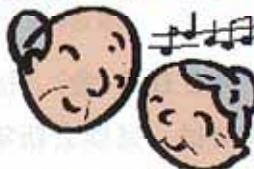
3月 第19号

<発行>平成 19年 3月 1日

<発行元>〒951-8051 新潟市新島町通三の町 2284 番地 <発行者> 木村 淳

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(228)5000(代) FAX025(228)4000



「謹賀新春」

ディサービスセンターさかえ お客様 大谷 勇吉様

目次

事業所だより	2	伊東先生のコラム 第19回	11
職員紹介	5	経営理念	12
私のおすすめ	7	編集後記	12
シリーズ 私の自慢	8		

事業所だより

デイサービスセンターさかえ

1月26日(金)、私共デイサービスセンターさかえでは、家族会新年会を開催いたしました。昨年に引き続き、今回で2回目となる新年会には、お客様8名・ご家族様7名の計15名の方々にご出席頂きました。

仕出し料理に加え、当センターで日頃お出ししているお食事をご家族様にもご賞味いただきたく、お客様の間で大変好評である粕汁や、お客様からお手伝いして頂いた手作りのシュークリームをお出ししたところ、「とても美味しい!」とお褒めの言葉を頂戴いたしました。

昨年行いました外出レクリエーションや夏祭りの模様を収めたビデオ上映や、普段のご様子を撮影した写真アルバムをご覧いただいたり、変装した職員の司会によるbingo大会とカラオケ大会を行なったりと大変盛り上がりました。bingo大会では職員の読み上げる番号に真剣に耳を傾け、あちこちから「リーチ」や「bingo」との声が上がり白熱しました。

また、ハンドロールピアノをご持参されたご家族様が「アメイジンググレイス」など、数曲演奏して下さり、素敵な音楽と音色にお客様も職員もうっとり、聞き入ってしまいました。

ご家族様のご協力のもと、お客様と一緒に素晴らしい時間を過ごさせていただきましたこと、職員一同大変有り難く存じます。

今後もより一層、お客様に楽しんでいただけるような行事を計画していきたいと思います。



仕出し料理に加え、普段お出ししていてお客様にもご好評頂いている、粕汁なども召し上がって頂きました。



職員司会のbingoゲーム。「リーチ!」「bingo!!!」と声が飛び交います。

デイサービスセンターさかえ

富樫 亜希子

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

在宅ケア事業部

先日のスタッフミーティングの際、高齢者の疑似体験が出来る「シニアポーズ」を装着・体験いたしました。

階段の上り下り、床に落ちた物を拾う動作、麻痺の有る方の車椅子移乗などを体験しました。

階段は上りより下りの方が怖く、前かがみになり足も上がり辛くなる事で歩幅も狭くなり、バランスを取るのが難しくなる・・・など。「腰が痛~い」「足が曲らな~い」と高齢者の皆様そっくりの動作になり、時々“笑い”が出るほどでした。

悪戦苦闘することで、高齢者の皆様の不自由さ、気持ちをほんの少しでも実感する事が出来たと思います。

この気持ちを忘れず、笑顔でお客様と接して行きたいと思っております。



訪問介護ステーション

川崎 裕子

電話 025-226-6667 FAX 025-226-6669

デイサービスセンター城北町

毎年大雪に見舞われる新発田市も、今年は暖冬のためか、小雪でとても過ごしやすい日が続いています。体調不良でお休みされるお客様も少なく、私たち職員一同、元気なお客様に会えることが、とても嬉しいです。

先日のレクリエーション時、「フラダンス」のボランティアの方がいらっしゃいました。

小春日和のその日は、天窓と中庭の大きな窓から日が差しこみ、ハワイアンムードたっぷりのゆったりとした曲調が流れると、ホール内はいっぺんに南国「ハワイ」になりました。「アロハ！」の掛け声とポーズを皆様で真似て、気分はすっかりハワイアンです。



フラダンスは自然を讃えるダンスとお聞きしました。花や大地、山、川と自然を表現しているものが多いそうです。

華やかなフラダンスの衣装を身につけたお客様は、お手本になるダンスを見ながらも思い思いのダンスを楽しめていらっしゃいました。お客様の素敵な笑顔がたくさん溢れ、とても楽しいひとときでした。

デイサービスセンター城北町

小泉 美咲

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

グループホーム新津

1月4日、雪もなく穏やかな昼下がり、1月生まれのお客様2名の誕生会がありました。2階のお客様お一人おひとりにホールケーキに生クリーム、イチゴを思い思いに飾りケーキを作っていました。皆さま手作りのケーキを美味しそうに召し上がっておられました。

歌やプレゼントも（ささやかですが・・）あり、お客様と一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。

1月14日、心配していた天候にも恵まれ、毎年恒例の餅つき会を行いました。

今年は家族会とグループホーム共催という形で、入居のお客様18名、御家族様21名の大人数で楽しい時間を過ごすことができました。

皆さま一生懸命ついたおもちは、それぞれあんこ、きな粉、おろし納豆で味をつけ美味しく頂くことができました。またこのような機会を作っていくたいと思いました。

グループホーム新津

鈴木和美、桜井里美

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889



通いなれたデイサービスで、気心知れたスタッフと！！住める！泊まる！！

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原



デイサービスセンター水原では、お正月気分もそろそろ抜け始めた1月の下旬頃より、鬼の絵を貼り絵で作成して頂き、絵が完成した頃2月3日に職員が鬼に扮し、盛大に豆まき大会を行いました。

「鬼は一外！！」「福は一内！！」と定番の掛け声と共に、「腰が良くなりますように」「健康でありますように」と願いを込め、豆をまいているお客様もいらっしゃいました。

みなさん目をキラキラ輝かせながら、楽しそうに豆を鬼にまいていらっしゃいました。

今後もいろいろなイベントを計画し、皆様に参加して楽しんで頂けるよう、スタッフで知恵を出しながら行っていこうと考えています。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 肥田野 由香里

電話 0250-62-8888(デイ)

0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

福祉用具事業部



今回は、トイレ内の手すりについてです。

最近では家を建てる際に「おじいちゃんやおばあちゃんの為に」とか、働き盛りの方も「将来の為に」ということで手すりを初めから取り付ける事が増えているようです。つい最近までは、「トイレの中に手すりがある」というのは非常識！？だったのかもしれません。でも、考えてみるとトイレの周りには壁しかないような状況で、しっかりとつかまる場所が無いために「転倒事故」や「便座に座ると立ち上がりが出来なくなってしまう」などのことが起きる可能性があります。つかまるところが「有るか。無いか。」のちょっとした違いが、実は大きな違いなのかもしれません。

次回はトイレの手すりについて引き続き紹介させて頂きます。

お問い合わせは 福祉用具事業部 柳都大橋 025-228-5002
新発田 0254-23-1173
上越 025-531-0688

職員紹介 No. 18

取締役 原 紀（おさむ）

皆様、はじめまして。

私は、平成18年3月1日から取締役として勤めさせて頂いております。

取締役という仕事は？一言で言えば「社長の補佐役」だと思っています。陰となり、日向となり社長を支えていければと思っています。しかし、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません、弊社の社長は身体が大きく出来ておりまして、こちらの身が持つかが目下の心配事です。

私は、新潟県の隣、福島県福島市で生まれ育ち、縁があって新潟に住み着きました。そこで県外から来た人間の代表として皆様に一言。

「新潟の人は贅沢です。」

「何が贅沢だって？」それは、おいしい物に恵まれているからです。酒・米・魚介類等の美味しさは格別です。おそらく多くの方々はそれが当然だと思われているかもしれません、非常に恵まれていて、全国に誇れると思います。

美味しいものが多い→食べすぎ、飲みすぎ→メタボリック症候群。
そうならないように一所懸命仕事に臨みたいと思っております。



デイサービスセンター松浜

デイサービスセンター松浜では、1月29日・31日の2日間「福祉美容サービス（有料）」を実施致しました。

お客様の多くは、土日や祝祭日に、ご家族様の送迎で理・美容院に通っておられます。センターで頭髪のカットができると、お客様やご家族様のご負担が軽減されるのではないかと考え、今回の実施となりました。

お客様からの評判も上々で、カット後は皆様とても良い笑顔を見せて下さいました。また、お客様同士でも「美人になったねえ！」「次回は私もやりたいわ！」と話に花が咲いていらっしゃいました。

今後は、定期的に実施する予定ですので、どうぞお気軽にご利用下さい。

※なお、日程・料金等につきましては、下記までお問合せ下さい。



デイサービスセンター松浜

石崎 徳幸

電話 025-255-7701 FAX 025-225-7705

デイサービスセンター横越

★節分

2月2日、3日に節分の行事を致しました。お客様にご自身の追い払いたい鬼を考えいただき、それを紙に書き、鬼のために貼って、思い切り豆をぶつけてもらいました。

また、「節分に巻き寿司を恵方に向かって食べると福を呼ぶ」ということから、お客様と巻き寿司作りをし、出来上がりにご満悦！おいしいと会話されながら召し上がっておられました。



皆様のこれからのご健康を願い、たくさんの福がきますよう！！

鬼は外！ 福は内！！

デイサービスセンター横越

成田 洋子

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

私のおすすめ！！

今年は例年に無く暖かい冬でしたが、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。しかし、もうすぐ春とはいえまだ身震いする冷たさも残っている時期かと思います。そこで今回皆様に私のとっておきの場所を紹介したいと思います。

それは「多宝温泉 だいろうの湯」です。

「多宝温泉 だいろうの湯」は新潟市の岩室温泉街の弥彦側の端にある日帰り温泉施設です。こちらの特徴はなんと言っても、これぞ温泉！！という硫黄の香りが十分に味わえるという点でしょう。

もう一つの特徴は、大庭園露天風呂です。浴槽の広さは、何と50畳！！

その広々とした露天風呂で多宝山を眺めながらゆっくりと湯につかれば、身も心もスッキリすること間違い無しです。

また弥彦神社も近くにありますので、温泉の前に少し足を伸ばして弥彦神社へお参りするコースもおすすめです。これからは日に日に暖かくなっていく良い季節です。一日ゆっくりと温泉につかりに外出なんていかがでしょうか？

多宝温泉 だいろうの湯 営業時間：10:00-22:00

新潟市石瀬3250 / TEL: 0256-82-1126



デイサービスセンター河渡本町

2月2日、3日とデイサービスセンター河渡本町では節分の豆まきと太巻きづくりを行いました。太巻きづくりでは、お客様の手をお借りしてお客様に巻いて頂きました。あるお客様はとても慣れた手つきで具を並べ巻かれていきました。形もしっかりとしていて見た目よく、とてもおいしそうに出来上りました。お客様も「おいしそうだね」「お腹がすいてきたね」と食べることを楽しみにされているご様子でした。お昼にはその太巻きをおいしく頂き、いつもとは一味違う昼食を楽しめました。

午後からは、職員が鬼となり豆まきを行いました。まずは代表して年男、年女のお客様に豆をまいて頂き、その後お客様皆様にまいて頂きました。力いっぱい豆を投げるお客様や遠慮がちに投げられるお客様、様々でしたがセンター内は「鬼は外、福は内」のかけ声と笑い声で包まれ楽しい1日となりました。



デイサービスセンター河渡本町

米内山 寛規

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター坂井東

2月3日の午後2時から新潟中央高校管弦楽部によるミニコンサートを開催いたしました。管弦楽部のある高校は、新潟市でも珍しいとのことです。当日は、15名の学生さんと引率の先生2名が来られ、迫力のある演奏を披露してもらいました。プログラムも用意して頂き昔なつかしい曲から氷川きよしの「箱根八里の半次郎」の曲まで幅広いジャンルをトランペット、ビオラ、チェロ等の楽器で演奏してもらい、感動のステージになりました。2曲目のハッピーバースデーでは、学生の方々がお客様をお祝いし、お客様は、とても感動していらっしゃいました。最後にそのお客様がお礼にカラオケを披露されて、楽しいコンサートは、終了いたしました。若い方のハツラツとしたパワーにお客様は、元気を頂きました。新潟中央高校の管弦楽部の皆さんありがとうございました。



デイサービスセンター坂井東

稻野 正晃

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

シリーズ 「私の自慢」 No. 19

「書道」

デイサービスセンターさかえ お客様 大谷 勇吉様



今月号の表紙を飾って下さったのは、デイサービスセンターさかえのお客様、大谷勇吉様の作品です。

大谷様は高等学校を卒業後、車大工の仕事をされていました。荷車や馬車、猫車などを作るかたわら、近くに石油会社があったこともあり、石油の小売りなどもされていたそうです。

そして50歳の頃、趣味であった水墨画や水彩画とともに書道を始められました。3年ほど通信教育で習われた後、町の書道教室に通い、数年後にはご自分でも書道教室を始められました。週に1度日曜日に、小学生をはじめご近所の方々に書道を教えておられました。

昨年夏に体調を崩されてから書道教室はお休みされおり、筆を握るのも久々とのことでしたが、書いて下さった作品は躍動感があり、他のお客様からも賞賛の声が上がっていました。これからも素晴らしい作品の数々を書いて頂けたらと思っております。



グループホーム五泉

★おもちゃのチャチャチャ！

寒さ厳しいこの頃、なかなか外へ出る機会もなく、生活も楽しみが少なくなってしまいがちですが、当ホームでは、アクティビティの一環として、木製のおもちゃやゲームで頭の体操と心の遊びを楽しんでいます。

それぞれご自分の興味のある物を手にとられ、一人で楽しまれる方、2~3人でゲームをされる方、そしてそれをご覧になる方と様々ですが、皆さま自然と顔がほころび笑顔が見られました。

特に喜ばれたのが口で吹くと“あら、不思議！汽車の汽笛が！”しばし啞然!! 郷愁を誘うその音色にうつとり…。

まだまだ寒さが続くこの季節、この楽しいおもちゃやゲームの出番がありそうです。

グループホーム五泉

落合 知子

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

グループホーム三条

★甘酒でほっと一息



このたび、地元地区の皆様のご提案で、お茶会が催されました。

手作りの甘酒を振舞っていただき、お客様も「なつかしいねえ」「美味しいですね」と色々な表情を見せてくださいました。

特別な行事というわけではなく、ただ一緒に甘酒とお菓子を楽しんで頂くといった企画ですが、ご近所の皆様とお茶を飲んで世間話をするお客様は、やはり楽しそうに過ごされていらっしゃいました。

これからも、地域の皆様との関係を更に大事にして、お客様が地域の皆様に溶け込んでいただくお手伝いをさせて頂きたいと思います。



グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター柳都大橋

先日、デイサービスセンター柳都大橋では今年初め
て「沼垂仲良しクラブ」というボランティアの方々を
お招きいたしました。

歌あり、踊りあり、トークありと、とてもお元気な
方々で楽しく拝見させていただきました。

こういった施設に慰問されるのは初めてということ
で、とても張り切って盛り上げてくださいました。

昔懐かしいオヨネーズの「麦畠」や、北島三郎の「函
館の女」にあわせておかめやひょっとこのお面をかぶって出てきたり、「2度と同じ踊りはでき
ないんだよ～」という即興の楽しい踊りを踊ってくださったり、お客様皆様本当に喜んで下さ
いました。

「今日は本当に楽しかったね。」「元気もらったわあ！」と笑顔笑顔の1時間でした。また来
てくださるということなので首を長くして待っていたいと思います。

デイサービスセンター柳都大橋

田村 かよ子

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

「居宅介護支援センター」

認知症のケア ーあなたならどうしますか？ー

皆さんのまわりにもたくさんの高齢者の方がいらっしゃることでしょう。家族以外の高齢者の方について関心を持った事はありますか？

たとえば道端で「どうもおかしいな・・・」と思える高齢者を見かけたとしたら・・・

- ① とりあえず見守る
- ② 勇気をもって声をかけてみる
- ③ 知らない人なので通り過ぎる

皆さんはどうしますか？

ただ歩きつかれてちょっと休んでいるだけかも・・家や行き先が分からずただひたすら歩いて
いるのかもしれません。毎年徘徊で行き倒れになったり、行方不明になったりする方がたくさん

います。また一人暮らしで困っている認知症のかたもたくさんいます。そ
の人達を助ける事ができるのは家族だけではなく、私達一人一人の小さな
勇気ではないでしょうか。皆さんも小さな勇気を持ってみませんか。

居宅介護支援センター横越

山口 和子

電話 025-383-2230 FAX 025-383-2236

伊東先生のコラム 第19回

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

死の瞬間

ドラマのようにガクッと死んでしまうと漠然と思っている人が多いと思います。

ほとんどの場合、ガクッとは死にません。多くの場合、死の直前に昏睡状態になり意識がない状態が続きます。次第に血圧が下がり、徐々に死んでいく。

私は、多くの人を見送ってきましたが、ドラマのように死んだ人は数人しか知りません。人は、よほどのことがない限り、徐々に死んでいくのです。

ドラマの様に死んだ人の中に若い母親が居ました。

小さい幼子を残して死ねなかつたのでしょうか。意思の力で意識を保っていました。

そして、小さな幼子が病院に到着して、夫に「後は頼んだね。」と一言いってから死にました。ドラマのようにガクッときます。

幼子は「ママ、どうしたの？ 眠っちゃったの？ どうしたの？ 何でみんな泣いているの？」とママの布団に入ろうとする。

さすがに、看護師も医師も、居合わせた全ての人が嗚咽して泣きました。

人は自分の死には耐えられないのでしょうか。神からのプレゼントでしょうか。

死を直接経験しなくてもよいようになっている。

ちなみに、認知症になる人は「死を恐れている人」が多いという統計結果もあります。

死が怖いから死を感じなくても良いように、いろいろなことが分からなくなる。

人の最大のイベントは、自分の誕生・結婚・死です。

一番見たくないのが「自分の死」。自然はそうした恐怖から守ってくれるようになっているのでしょうか。脳内モルヒネも死の直前に最大量分泌されます。

死の瞬間は、恐怖心も痛みもなく、むしろ恍惚とした開放感に包まれるとも言われています。

私たちは「自分の死」を恐れるのではなく日々を大事に生きていくことが大事なのでしょう。

株式会社はあとふるあたご

<経営理念>

わたしたち はあとふるあたご は、
『“人”を一番大切にします』
これが、わたしたち はあとふるあたご の基本理念です。
すべての社員が
はあとふるあたご で働くことに幸せを感じます。
わたしたちが幸せに働くのは、
私たちを必要としてくれるお客様がいらっしゃるからです。

必要としてくれる人がいるから… 自然と笑顔で働く場所

はあとふるあたごでは、
一緒に働く仲間を募集しています。

募集中のお仕事

介護職員・生活相談員・看護師
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
経験者大歓迎です。

育児休業・介護休業取得実績多数あり！
未経験者には各種研修やOJTなど、
安心して働く職場環境です。

■応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051 新潟市新島町通3ノ町2284番地

株はあとふるあたご 採用係

在宅介護の総合サービス

はあとふるあたご

<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

編集後記

今月より新コーナー「私のおすすめ」を始めました。

各事業所のスタッフが、自信を持ってご紹介するスポットや一品。すでに知っている方も、初めて知られる方も、楽しんでいただけるような内容にしていきたいと思っております。

「この前紹介していたのよりも、こっちの方が良いよ」というようなご意見も、誌面でご紹介していただけたら、と考えておりますので、お気軽にご連絡下さい。

<連絡先> グループホーム三条
電話 0256(36)5555 FAX 0256(36)5556

<編集委員>

稻野 正晃(デイサービスセンター坂井東)
古野間 信介(総務部)
阿部 充子(居宅介護支援センター坂井東)
中山 卓(福祉用具センター新発田)
難波 淳(グループホーム三条)